# 2021年度　環境経営レポート

（対象期間：2021年1月1日～2022年4月30日）

【事業年度変更のため例外的な期間となっている】

エコアクション21

認証番号　0009554

# 株式会社　丸茂組

秋田県大仙市花館字間倉157-6

TEL0187-63-1370　FAX0187-63-1372

# 環境経営方針

＜基本理念＞

**あなたの笑顔 夢ある未来 地域とともに 人とともに**

我社は、土木工事・建築工事の事業活動において、環境負荷の低減及び環境関連法規の遵守に従業員一丸となって取組み、社業を持続可能なものとすること、そして地域の発展、夢ある未来の構築に向けて次の行動指針を定めます。

1. 事業活動における環境負荷を低減し、環境への影響を最小限にする為に次の取組を行います。

   ① エネルギー使用量の削減を促進し、併せて二酸化炭素の発生量を抑制します。

   ② 建設廃棄物の発生の抑制、再使用、リサイクルの推進に努めます。

   ③ 水資源の確保のため、節水に努めます。

   ④ 化学物質の適正管理や使用量の削減に努めます。

   ⑤ ICT化による工事の効率的運用により、工期短縮、工程・安全・品質管理の強化を目指し、建築物・工作物等への環境配慮を目指します。

2. 環境関連の法令、条令等の遵守に努めます。

3. 生物多様性の保全に向けた活動を促進します。

4. 5Sの徹底を行い、さまざまなムダの排除に努めます。

5. ボランティア活動を通して、地域へのコミュニケーションを図るよう努めます。

6. SDGs(持続可能な目標開発)の周知及び普及に努め、建設業が担う住環境の整備やまちづくり、インフラ構築、省エネ、環境保護などに取り組みます。

制定日 ： 2012 年 10 月 1 日
制定日 ： 2019 年 6 月 1 日
制定日 ： 2021 年 7 月 1 日

株式会社 丸 茂 組
代表取締役 三 浦 尚

## □SDGs（持続可能な開発目標）重点目標5分野

国連サミットで採択された2030年までに達成すべき１７のゴール

## １７のゴールの中で、特に力を入れて活動する5分野

| | ゴール | 目標 | 建設業ができること |
|---|---|---|---|
| 8 | 働きがいも経済成長も | すべての人のための持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を促進する。 | 性別・年齢にとわられない雇用促進 |
| 9 | 産業と技術革新の基礎をつくろう | インフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。 | 耐震技術の向上、土砂崩れ等防止策 |
| 11 | 住み続けられるまちづくりを | 人間の居住地を安全、強靭かつ持続可能にする | 災害に強い住宅、省エネルギー住宅の建設 |
| 12 | つくる責任つかう責任 | 持続可能な消費と生産のパターンを下確保する。 | 100年住み続けられる家づくり、古民家再生 |
| 13 | 気候変動に具体的な対策を | 機工変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る。 | 災害対策のための技術向上 |

AKITA SDGs

秋田県SDGsパートナー

登録証

株式会社丸茂組　様

あなたを「秋田県SDGsパートナー」として登録します。

登録期間　令和３年１１月１９日～令和６年１１月１８日

令和３年１１月１９日

秋田県知事　佐竹敬久

# □環境経営目標及びその実績

**今年度　最重点項目　電気・軽油**

| 項目 ＼ 年度 | | 基準値（基準年） | 2021年(1年4ヶ月)（目標） | 2021年(1年4ヶ月)（実績） | 評価 | 2022年（目標） | 2023年（目標） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 電力使用量削減で二酸化炭素削減（重点項目） | kg-CO2 | 76,828 | 65,304 | 61,301 | ○ | 63,767 | 61,462 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 80% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 11.26 | 9.57 | 13.99 | × | 9.34 | 9.00 |
| LPG使用量削減で二酸化炭素削減 | kg-CO2 | 18,540 | 15,759 | 75 | ○ | 15,388 | 14,832 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 0% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 2.72 | 2.31 | 0.02 | ○ | 2.25 | 2.17 |
| ガソリン使用量削減で二酸化炭素削減 | kg-CO2 | 265,942 | 226,051 | 182,752 | ○ | 220,732 | 212,754 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 69% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 38.96 | 33.12 | 41.91 | × | 32.34 | 31.17 |
| 軽油使用量削減で二酸化炭素削減（重点項目） | kg-CO2 | 758,164 | 644,439 | 513,872 | ○ | 629,276 | 606,531 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 68% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 111.07 | 94.41 | 117.83 | × | 92.19 | 88.86 |
| 灯油使用量削減で二酸化炭素削減 | kg-CO2 | 65,007 | 55,256 | 44,638 | ○ | 53,956 | 52,006 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 69% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 9.52 | 8.09 | 10.24 | × | 7.90 | 7.62 |
| 上記二酸化炭素排出量合計 | kg-CO2 | 1,184,481 | 1,006,809 | 802,638 | ○ | 983,119 | 947,585 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 68% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 173.52 | 147.50 | 183.99 | × | 144.03 | 138.82 |
| 一般廃棄物の削減 | kg | 555 | 472 | 505 | × | 461 | 444 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 91% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 0.08 | 0.07 | 0.12 | × | 0.07 | 0.07 |
| 産業廃棄物の削減 | t | 5,660 | 4,811 | 9,489 | × | 4,698 | 4,528 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 168% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 0.83 | 0.70 | 2.18 | × | 0.69 | 0.66 |
| | リサイクル率 | 99.7% | 100% | 94.40 | × | 100% | 100% |
| 水道水の削減 最低基準量13m3維持 | $m^3$ | 13 | 13 | 30 | × | 13 | 13 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 100% | 231% | | 100% | 100% |
| 化学物質使用量削減及び適正管理 | kg | 14,190 | 12,062 | 12,465 | × | 11,778 | 11,352 |
| | 基準年度比 | 2018/1～2019/4（1年4ヶ月） | 85% | 88% | | 83% | 80% |
| | kg-CO2/百万円 | 2.08 | 1.77 | 2.86 | × | 1.73 | 1.66 |

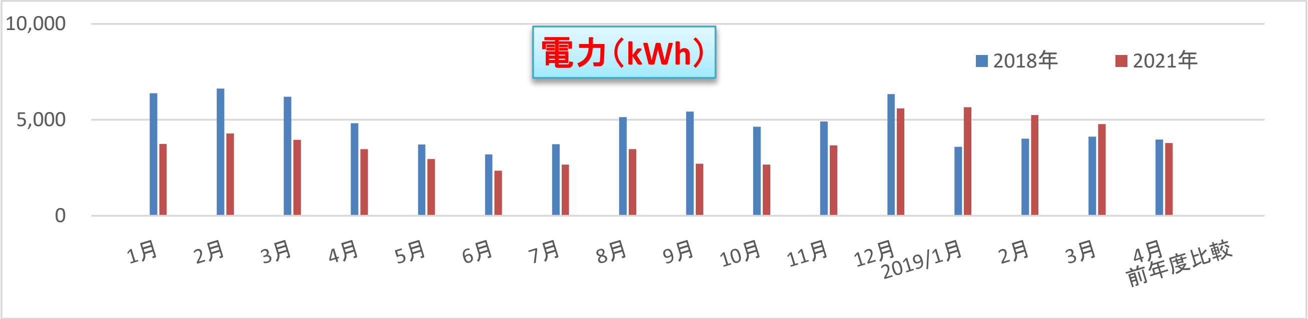
注：購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力の調整後排出係数　0.6kgCO2/kwh（H 24 年度実績）

# □環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成　×未達成

活動：◎よくできた　○まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

| 電力使用量削減で二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　（原単位での数値目標） | × | 基準年・目標共にクリアー出来ましたが、原単位での目標は未達成となりました。<br>冷暖房が電気使用に切り替わったが、よく努力したと思います。 |
| ・室内温度は、冷房時28度、暖房時20度の設定とする。 | △ | |
| ・電気製品の買い替えの際は、省エネタイプの機器を選定する。 | ○ | |
| ・昼休み等、不要な照明を消灯する。 | ○ | |
| ・施工工程の短縮 | △ | |
| ・ノー残業デーの実施 | △ | |




| kg-CO2 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 6,380 | 6,635 | 6,197 | 4,818 | 3,715 | 3,199 | 3,725 | 5,137 | 5,425 | 4,638 | 4,911 | 6,346 | 3,589 | 4,026 | 4,121 | 3,966 | |
| 2018累計 | 6,380 | 13,015 | 19,212 | 24,030 | 27,745 | 30,944 | 34,669 | 39,806 | 45,231 | 49,869 | 54,780 | 61,126 | 64,715 | 68,741 | 72,862 | 76,828 | |
| 2021年 | 3,743 | 4,285 | 3,952 | 3,479 | 2,957 | 2,354 | 2,662 | 3,479 | 2,708 | 2,674 | 3,675 | 5,593 | 5,657 | 5,245 | 4,775 | 3,794 | |
| 2021累計 | 3,743 | 8,028 | 11,980 | 15,459 | 18,416 | 20,770 | 23,432 | 26,911 | 29,619 | 32,293 | 35,968 | 41,561 | 47,218 | 52,463 | 57,238 | 61,032 | 79% |

事務所での取組

こまめな消灯

事務所、休憩所のこまめな消灯に努めます。
また、昼休みの消灯に努めます。
〔省エネ型蛍光灯（10台）を毎日1時間消灯した場合〕

照明の間引き

事務所の照明を支障のない範囲で間引きします。
〔省エネ型蛍光灯（2台）を毎日9時間消灯した場合〕

クールシェア・ウォームシェアの実践

個別での空調をやめ、涼しい（暖かい）場所を共有（シェア）することにより、冷暖房の電力消費を削減します。
〔出力5.0kWのエアコン（1台）を毎日3時間停止した場合〕

こまめな空調停止

事務所を一時離れる際には、空調をこまめに停止します。
〔出力5.0kWのエアコン（1台）を毎日1時間停止した場合〕

パソコン・コピー機の省電力設定

パソコン、コピー機を省電力モードに設定します。
〔コピー機（1台）を毎日4時間省電力モードに変更した場合〕

夜間、休日のパソコン・プリンターの主電源停止

夜間、休日のパソコン、プリンターについては、主電源から停止させ、待機電力の消費を削減します。
〔待機電力3.0Wのパソコン（4台）を毎日15時間停止した場合〕

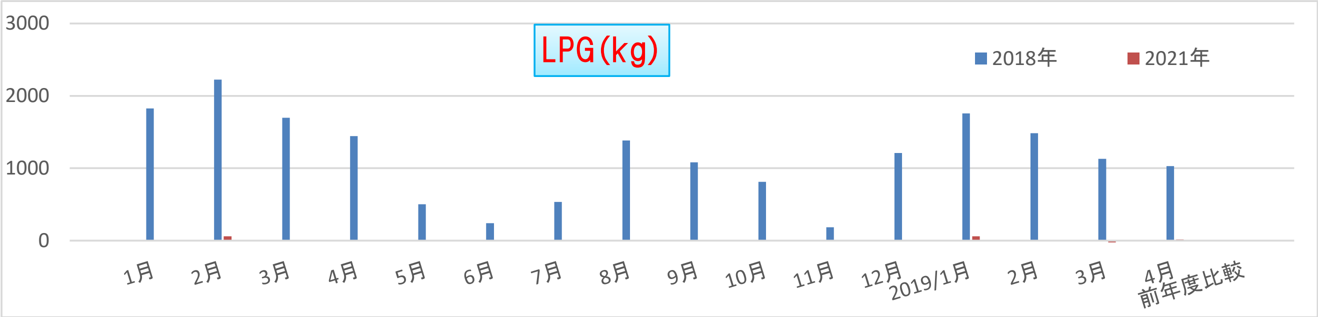
事務所壁面の緑化

事務所の壁面を緑化し、現場事務所内の気温上昇を抑え、夏期の空調に係る消費電力を削減します。
〔緑のカーテン8m²を設置した場合〕

LED照明の利用

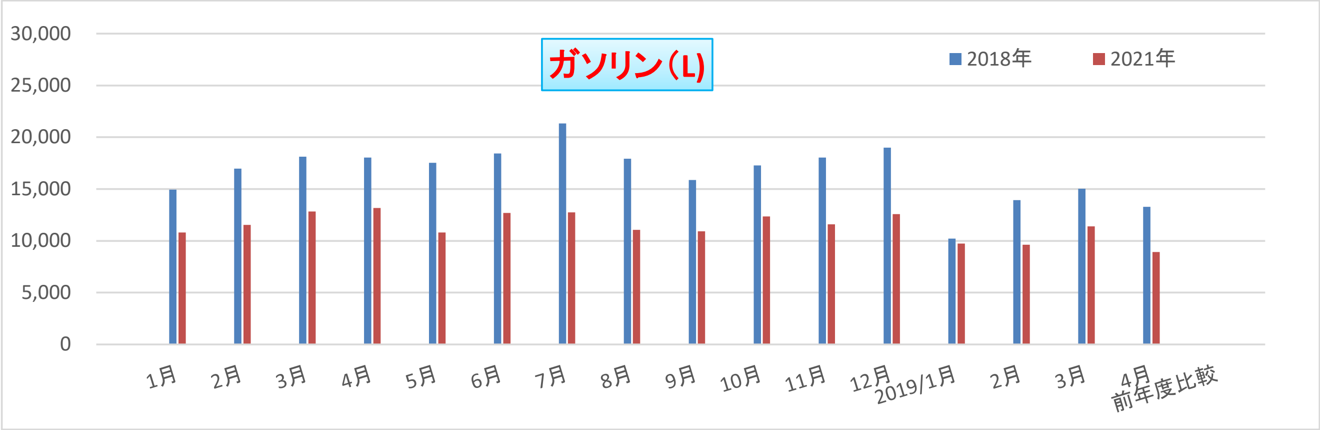
現場事務所の照明（蛍光灯）をLEDランプに変更し、電力使用量を削減します。
〔省エネ型蛍光灯（20台）をLEDに更新した場合〕

| LPG使用量削減で二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　(原単位での数値目標) | ○ | 本社冷暖房設備ガスから電気へ切り替えにより、使用減少となりました。 |
| ・室内温度は、冷房時28度、暖房時20度の設定とする。(本社のみ) | ○ | |
| ・電源スイッチ付近に節電のステッカーを貼り意識の徹底を図る。 | ○ | |



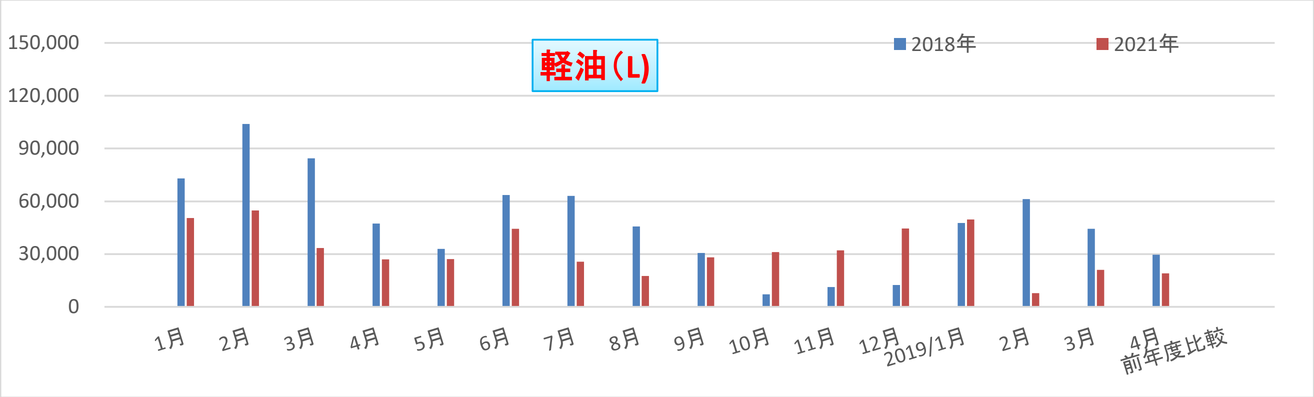

| kg-CO2 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 1,828 | 2,224 | 1,696 | 1,444 | 501 | 240 | 534 | 1,384 | 1,081 | 814 | 186 | 1,210 | 1,756 | 1,483 | 1,129 | 1,030 | |
| 2018累計 | 1,828 | 4,052 | 5,748 | 7,192 | 7,693 | 7,933 | 8,467 | 9,851 | 10,932 | 11,746 | 11,932 | 13,142 | 14,898 | 16,381 | 17,510 | 18,540 | |
| 2021年 | 0 | 60 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 60 | 0 | -54 | 15 | |
| 2021累計 | 0 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 54 | 54 | 54 | 54 | 54 | 114 | 114 | 60 | 75 | 0% |

| ガソリン使用量削減で二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　(原単位での数値目標) | × | 基準年・目標共にクリアー出来ましたが、原単位での目標は未達成となりました。<br>事務所内・現場共減少することが出来ました。 |
| ・エコドライブの徹底 | ○ | |
| A車両月報の提出 | ○ | |
| Bタイヤの空気圧チェック | △ | |
| C定期的なオイル交換(3,000km毎) | ○ | |
| D不要なアイドリングの禁止 | ○ | |




| kg-CO2 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 14,935 | 16,957 | 18,134 | 18,025 | 17,533 | 18,427 | 21,322 | 17,935 | 15,866 | 17,266 | 18,049 | 19,005 | 10,215 | 13,944 | 15,040 | 13,287 | |
| 2018累計 | 14,935 | 31,892 | 50,026 | 68,051 | 85,584 | 104,011 | 125,333 | 143,268 | 159,134 | 176,400 | 194,449 | 213,454 | 223,669 | 237,613 | 252,653 | 265,940 | |
| 2021年 | 10,819 | 11,525 | 12,846 | 13,175 | 10,800 | 12,688 | 12,746 | 11,060 | 10,933 | 12,344 | 11,583 | 12,569 | 9,735 | 9,612 | 11,388 | 8,929 | |
| 2021累計 | 10,819 | 22,344 | 35,190 | 48,365 | 59,165 | 71,853 | 84,599 | 95,659 | 106,592 | 118,936 | 130,519 | 143,088 | 152,823 | 162,435 | 173,823 | 182,752 | 69% |

| 軽油使用量削減で二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　（原単位での数値目標） | × | 基準年・目標共にクリアー出来ましたが、原単位での目標は未達成となりました。<br>雪の多い年となりました効率の良い稼働により減少出来ました。 |
| ・エコドライブの徹底 | ○ | |
| ・タイヤの空気圧チェック | △ | |
| ・低音・低振動型機械の使用 | ○ | |
| ・排出ガス対策型機械の使用 | ○ | |
| ・建設機械等の自主点検整備の徹底 | ○ | |




| kg-C02 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 72,965 | 103,864 | 84,407 | 47,325 | 32,893 | 63,622 | 63,144 | 45,669 | 30,623 | 7,138 | 11,319 | 12,450 | 47,611 | 61,173 | 44,299 | 29,663 | |
| 2018累計 | 72,965 | 176,829 | 261,236 | 308,561 | 341,454 | 405,076 | 468,220 | 513,889 | 544,512 | 551,650 | 562,969 | 575,419 | 623,030 | 684,203 | 728,502 | 758,165 | |
| 2021年 | 50,487 | 54,799 | 33,458 | 27,041 | 27,083 | 44,370 | 25,690 | 17,507 | 28,196 | 31,085 | 32,059 | 44,564 | 49,660 | 7,760 | 21,000 | 19,113 | |
| 2021累計 | 50,487 | 105,286 | 138,744 | 165,785 | 192,868 | 237,238 | 262,928 | 280,435 | 308,631 | 339,716 | 371,775 | 416,339 | 465,999 | 473,759 | 494,759 | 513,872 | 68% |

## 現場での取組

### 作業効率の向上

アームシリンダーと連結ピン部分が直角になる位置が最大掘削力があります。

2段掘削の方がムダな動きが少ないので燃料消費を少なくできます。

### 効率的な空中動作

掘削積込作業時、ほんの少しの工夫で燃費向上につながります。ムダのない動作で燃費効率の向上に努めましょう。

### 波状運転の防止

一定速度の運転を励行することにより、燃料消費を削減します。

〔定速走行により燃費20%向上。燃費2.5km/Lのダンプで1,600km走行し、燃料単価を90円/Lとした場合〕

### 省エネ・低燃費型建設機械の使用

省エネ型・ハイブリッド型の建設機械を使用し、燃料使用量を削減します。

〔ハイブリッド機械の使用により燃費20～30%向上。地山掘削積込5,000m²とし、燃料単価90円/Lとした場合〕

### エンジンブレーキの利用

下り坂走行は、エンジンブレーキと排気ブレーキをこまめに選択して走行しましょう。

### 油圧リリーフの回避

掘削する土砂の反力が大きい場合、操作レバーを引き続けても油圧がリリーフするのみです。

リリーフは「仕事」していません。速やかにブームを操作してリリーフを回避してください。

### アイドリンクストップの励行

冬季の暖気運転は水温計の針が動き出す程度でOKです。(目安は5分)停車時間が20秒以上の場合、エンジンをストップします。

〔月20日稼働。1日1時間、アイドリングストップを実施。燃料単価は90円/Lとした場合〕

### 早めのシフトアップ・遅めのシフトダウン

高変速段のギアの多用により、エンジン回転数を抑えて運転します。

〔早めのシフトアップ等により燃費20%向上。燃費2.5km/Lのダンプで1,600km走行し、燃料単価を90円/Lとした場合〕

### 経済速度での走行

高速道路は100km/h→80 km/hに落として走行、一般道路は、50 km/h以下で走行します。

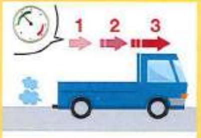
〔経済速度走行により燃費20%向上。燃費2.5km/Lのダンプで1,600km走行し、燃料単価を90円/Lとした場合〕

### 急発進・急加速の回避

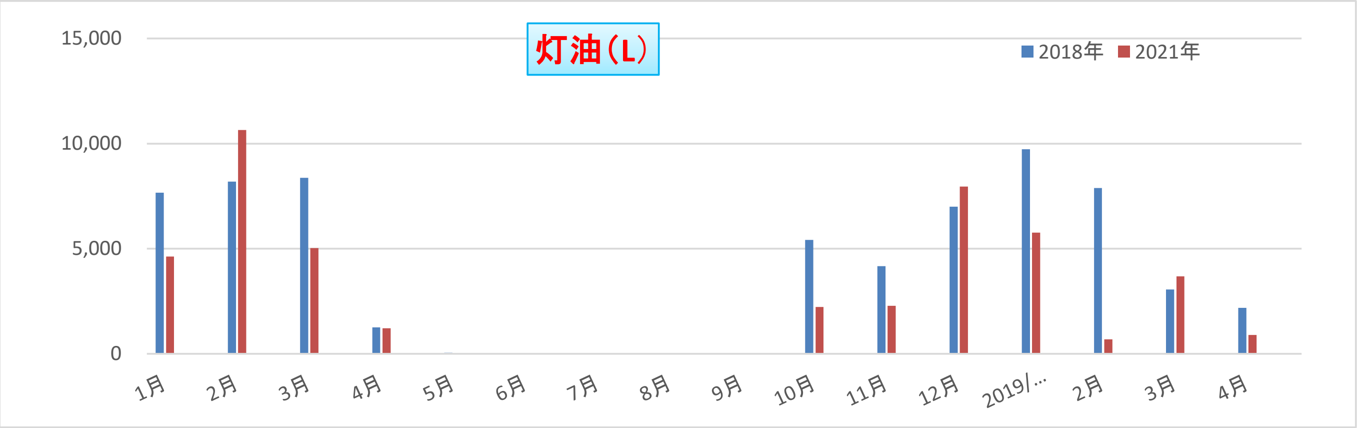
早めのシフトアップにより、ゆるやかな発進・加速とします。

グリーンゾーン内(1200～1500回転)でシフトアップします。

〔月1,600km走行し、燃料単価は90円/Lとした場合〕

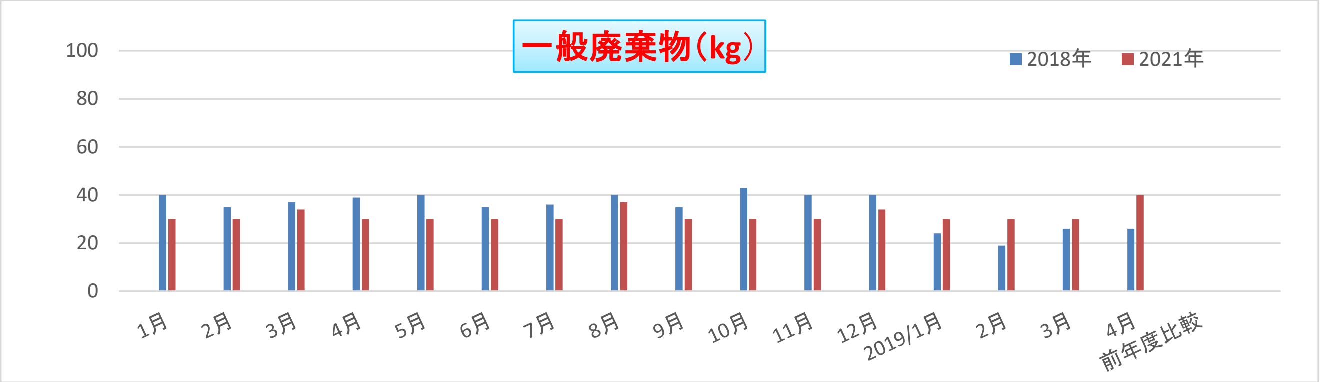


| 灯油使用量削減で二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　（原単位での数値目標） | × | 基準年・目標共にクリアー出来ましたが、原単位での目標は未達成となりました。 |
| ・室内温度は、冷房時28度、暖房時20度の設定とする。 | △ | |
| ・電源スイッチ付近に節電のステッカーを貼り意識の徹底を図る。 | ○ | |
| ・ノー残業デーの実施 | △ | |



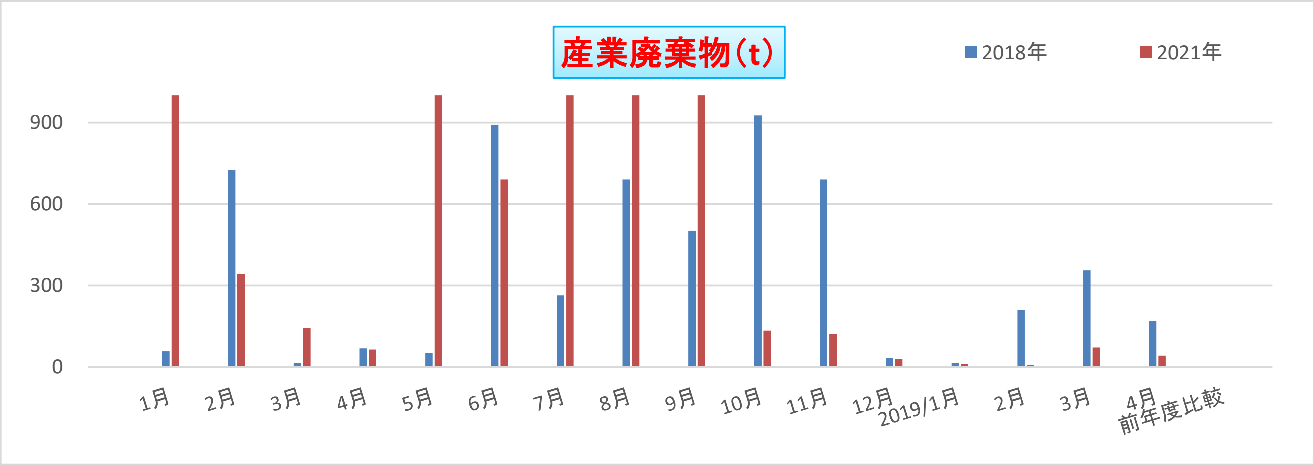

| kg-CO2 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 7,660 | 8,191 | 8,375 | 1,261 | 45 | 22 | 0 | 0 | 0 | 5,420 | 4,167 | 7,002 | 9,736 | 7,884 | 3,055 | 2,188 | |
| 2018累計 | 7,660 | 15,851 | 24,226 | 25,487 | 25,532 | 25,554 | 25,554 | 25,554 | 25,554 | 30,974 | 35,141 | 42,143 | 51,879 | 59,763 | 62,818 | 65,006 | |
| 2021年 | 4,621 | 10,643 | 5,031 | 1,209 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,233 | 2,278 | 7,949 | 5,764 | 693 | 3,683 | 895 | |
| 2021累計 | 4,621 | 15,264 | 20,295 | 21,504 | 21,504 | 21,504 | 21,504 | 21,504 | 21,504 | 23,737 | 26,015 | 33,964 | 39,728 | 40,421 | 44,104 | 44,999 | 69% |

| 一般廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|---|---|---|
| 数値目標 | × | 日常業務においては分別及びリサイクル等実施出来たが、社内全体の整理をしたため排出量は目標473Kgに対して未達成となった。 |
| ・分別を徹底し、可能な限りリサイクルする。 | ○ | |
| ・両面コピーや、縮小コピーの励行 | ○ | |
| ・廃棄物排出量の実績把握 | ○ | |



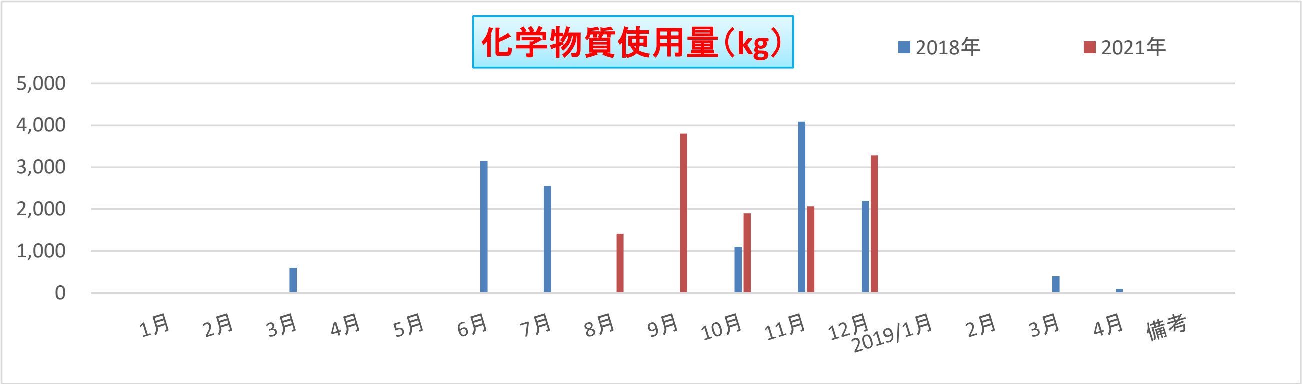

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 40 | 35 | 37 | 39 | 40 | 35 | 36 | 40 | 35 | 43 | 40 | 40 | 24 | 19 | 26 | 26 | |
| 2018累計 | 40 | 75 | 112 | 151 | 191 | 226 | 262 | 302 | 337 | 380 | 420 | 460 | 484 | 503 | 529 | 555 | |
| 2021年 | 30 | 30 | 34 | 30 | 30 | 30 | 30 | 37 | 30 | 30 | 30 | 34 | 30 | 30 | 30 | 40 | |
| 2021累計 | 30 | 60 | 94 | 124 | 154 | 184 | 214 | 251 | 281 | 311 | 341 | 375 | 405 | 435 | 465 | 505 | 91% |

| 産業廃棄物の削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組内容 |
|---|---|---|
| 最終目標　（原単位での数値目標） | × | 今期は大型施設等の解体工事などにより、数量的には多量の発生となった。 |
| ・産業廃棄物排出量の実績把握 | ◯ | |
| ・分別を徹底し、可能な限りリサイクルする。 | ◯ | |
| ・マニフェストの管理・保管 | ◯ | |




| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 前年度比較 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 58 | 725 | 14 | 68 | 51 | 892 | 263 | 690 | 502 | 926 | 690 | 33 | 13 | 210 | 356 | 169 | |
| 2018累計 | 58 | 783 | 797 | 865 | 916 | 1,808 | 2,071 | 2,761 | 3,263 | 4,189 | 4,879 | 4,912 | 4,925 | 5,135 | 5,491 | 5,660 | |
| 2021年 | 1,248 | 342 | 143 | 64 | 2,910 | 690 | 1,066 | 1,311 | 1,302 | 134 | 122 | 29 | 10 | 6 | 71 | 41 | |
| 2021累計 | 1,248 | 1,590 | 1,733 | 1,797 | 4,707 | 5,397 | 6,463 | 7,774 | 9,076 | 9,210 | 9,332 | 9,361 | 9,371 | 9,377 | 9,448 | 9,489 | 168% |

| 化学物質使用量削減及び適正管理 | 達成状況 | 取組結果とその評価 |
|---|---|---|
| 最終目標　（原単位での数値目標） | × | 適正な量及び管理を心がけ使用することが出来た。 |
| ・適正な使用数量の把握 | ◯ | |
| | | |




| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2019/1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2018年 | 0 | 0 | 600 | 0 | 0 | 3,150 | 2,555 | 0 | 0 | 1,100 | 4,085 | 2,200 | 0 | 0 | 400 | 100 | |
| 2018累計 | 0 | 0 | 600 | 600 | 600 | 3,750 | 6,305 | 6,305 | 6,305 | 7,405 | 11,490 | 13,690 | 13,690 | 13,690 | 14,090 | 14,190 | |
| 2021年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,411 | 3,802 | 1,902 | 2,066 | 3,284 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 2021累計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,411 | 5,213 | 7,115 | 9,181 | 12,465 | 12,465 | 12,465 | 12,465 | 12,465 | 88% |

# □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

1.　環境関連法規法規の遵守状況

| 法規制等の名称 | 摘要内容　・　遵守事項 | 遵守状況 |
|---|---|---|
| ◆　廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | | |
| 全般 | 自己処理の原則、清潔の保持、通報努力義務 | ○ |
| 廃棄物の保管基準 | 保管基準、掲示板 | ○ |
| 一般廃棄物の処理 | 市町村の処理、処理の委託 | ○ |
| 産業廃棄物の処理 | 自己処理の原則、委託基準、処理状況の確認 | ○ |
| 委託契約書 | 委託契約書の発行 | ○ |
| 産業廃棄物管理票 | 管理票の交付、最終処分の確認、調査と報告、保管期間、管理票の返却、知事への報告 | ○ |
| ◆　フロン排出抑制法 | | |
| 事業者の責務 | 適正処理 | ○ |
| 第１種特定製品廃棄等実施者の責務 | 引き渡し、書面の交付、委託確認書、再委託承諾書、再委託先への交付、保管期間、引取証明 | ○ |
| フロン類の放出禁止 | | ○ |
| ◆　家電リサイクル法 | | |
| 事業者及び消費者の責務 | 長期使用、引き渡し、家電マニュフェスト | ○ |
| ◆　自動車リサイクル法 | | |
| 自動車所有者の責務 | 引き渡し、引取証明書、リサイクル料金 | ○ |
| ◆　浄化槽法 | | |
| 浄化槽管理者の義務 | 水質検査（新設）、保守点検・清掃、使用開始届、変更届・定期水質検査、廃止届 | ○ |
| 使用に関する準則 | 使用上の注意 | ○ |
| ◆　下水道法 | | |
| 排水設備の設置 | 排水設備 | ○ |
| ◆　消防関係法 | | |
| 大仙市火災予防条例 | 少量危険物貯蔵の届け | ○ |
| ■オフロード法 | 特定特殊自動車、使用者の責務、使用の制限 | ○ |
| ■悪臭防止法 | 地域既製、規制基準の遵守、焼却の禁止 | ○ |
| ■騒音規制法 | 特定施設、地域指定、設置届、変更届、規制基準の遵守、特定建設作業、実施の届け | ○ |
| ■新道規制法 | 特定施設、地域指定、設置届、変更届、規制基準の遵守、特定建設作業、実施の届け | ○ |
| ■秋田県産業廃棄物の処理に関する指導要綱 | 排出事業者の処理 | ○ |
| ■建設リサイクル法 | 建設業者の責務、届出事項の説明、請負契約書、再資源化実施義務 | ○ |

２．違反、訴訟等の有無

環境関連法規及び条例への違反はありません。

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去３年間ありません。

# □緊急事態対応訓練

| 緊急事態の想定：　火災の発生 | |
| --- | --- |
| ■実施日： 令和3年11月15日 | ■実施場所 本社　駐車場 |
| ■参加者： 本社勤務者及び現場勤務者　25名 | ■実施内容： 消火器の取扱と手順書の確認 |
| ■評価： | 手順書の変更の必要 □ あり　☑ なし |
| 社内及び現場での火災発生時の伝達処理の確認が出来た。 | |
| ■実施状況の様子 | |

| 緊急事態の想定：　油流出事故の発生 | |
| --- | --- |
| ■実施日： 令和3年12月1日 | ■実施場所 雄物川右岸(後川排水樋門) |
| ■参加者： 前年度不参加者対象　土木部員　10名 | ■実施内容： 重機等油漏れ対応<br>オイルフェンス設置訓練・手順書の確認 |
| ■評価： | 手順書の変更の必要 □ あり　☑ なし |
| 油資材の特徴やオイルフェンスの設置方法及び連絡体制の確認が出来た。 | |
| ■実施状況の様子 | |

# □ 地域コミュニケーション活動

## 保育園児による重機見学会

## 中学生職場体験学習

## 高校生インターンシップ

クリーンアップ活動

さくらまつり交通誘導

地域の伝統・財産　玉川・丸子川のサケ

## □ 環境にやさしい施工

地球に優しいハイブリット断熱塗料「キルコート」
10年、15年先の将来を見据えて塗装するだけで断熱効果により、夏は涼しく、冬は暖かく、冷暖房費を削減してくれる塗料、経済的で省エネと快適な環境を実現します。

トップクラスの4つの機能

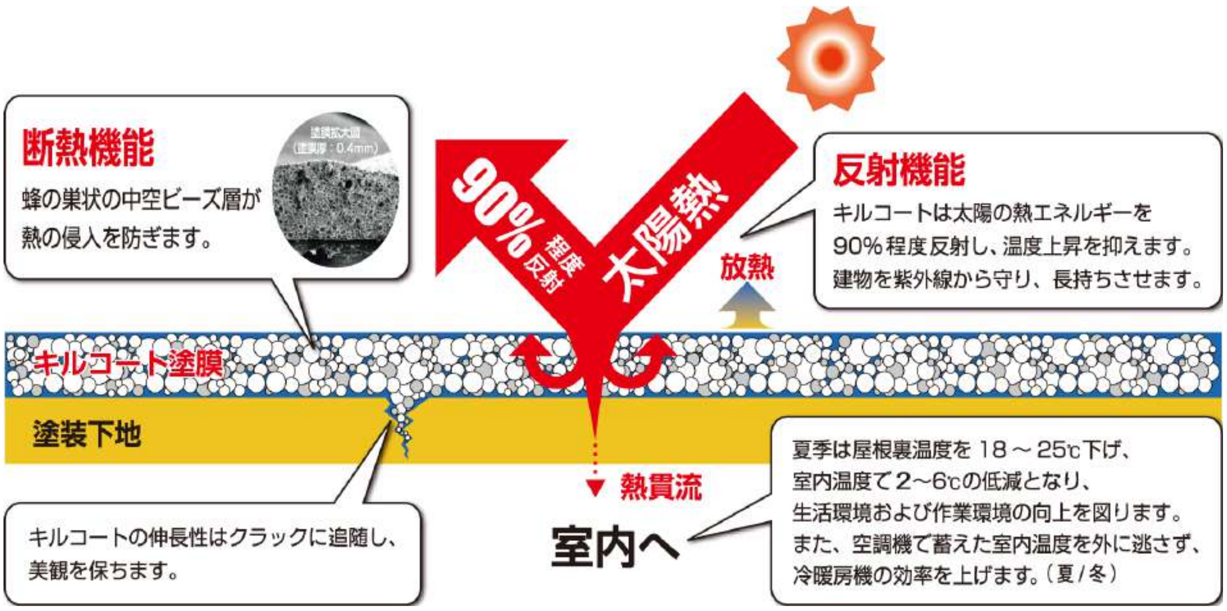
① 断熱　高断熱性能で冷暖房費をカットし結露対策にも大きな効果を発揮します。

② 伸縮　200%以上の伸び率で建物の伸びにも追従し、長年に渡りヒビ・はがれ・ふくれを許しません。

③ 粘着　強力な粘着力であらゆる建材に通常の方法で塗装することができます。

④ 耐久　15年以上の長寿命で、劣化原因となる紫外線から建物を守り続けます。

◎キルコートの断熱機能の仕組み




施工実績をもとに自身をもって高品質の施工をいたします。

# □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：　2022年6月15日

## 【前回の指示への取組結果】

環境の重要性・目標に対する意識付け・各自の役割の認識など、環境への取組については実施できていたと判断しています。今後はもう少し具体的な指示及びチェック体制の工夫を期待します。

## 【環境経営方針】

昨年、SDGsの取組を環境経営方針の行動指針に追加し改定しており、今回は見直しはありません。基本理念を念頭に取り組みましょう。

## 【環境経営目標及び環境経営計画の取組結果】

各部署及び各現場において目標達成に向けて行動していると感じています。成果は出てきていると思いますが、目標達成までは今一歩のところです。効率の良い施工・品質の良い施工が目標達成に一番近づけることと思います。更なる検討を期待します。

## 【実施体制】

昨年、会社の組織体制を見直ししたことにより、エコアクションも一部変更なりました。各自の役割をしっかり実行してください。

## 【課題とチャンス】

若手社員の確保が重要です。そのためには魅力ある職場環境にすること、ICT化に対応できる技術力をつけること、インターンシップ等の工夫など、全社員が積極的に取り組むことが必要です。

| | | |
|---|---|---|
| 環境経営方針 | ☑ 変更なし | □ 変更あり |
| 環境経営目標・計画 | ☑ 変更なし | □ 変更あり |
| 実施体制 | ☑ 変更なし | □ 変更あり |